

SENJU Webセミナー

LIVE

伊藤医院 副院長 LIME研究会代表

有田 玲子 先生



『明日からの日常診療に役立つシリーズ！ アジマイシン点眼は後部眼瞼炎の根本治療』

後部眼瞼炎（≡マイボーム腺機能不全、以下MGD）は日常の眼科一般診療において私たち眼科医が遭遇する最も頻度の高い疾患のひとつである。ほとんどの場合、視力低下がないため、あまり重要な疾患として認識されることが少ない。しかし、患者の主訴は非常に強く、QOLは透析患者並みに低いとの報告があるほど患者にとってはつらい疾患であるが、今までは対症療法としての治療法しかなく、根本治療として眼科医が処方できる局所治療薬は皆無だった。

2019年9月にアジマイシン点眼液1%が発売され、状況は大きく変わった。眼瞼炎に対しての根本治療薬としてアジマイシン点眼液を処方できることが可能となったのである。

本講演では、アジマイシン点眼液を実際の後部眼瞼炎（≡MGD）に処方した臨床例を多数供覧し、その治療経過を個々の症例の特徴に合わせて検討したい。最もよい適応、注意を要する処方例なども提案させていただき、明日からの後部眼瞼炎（≡MGD）治療に役に立つ実践的な講演としていきたい。

日時：2019年11月27日（水）19：00～20：00
場所：各病院、拠点など

お気軽に千寿製薬MRまでお問い合わせください。



主催：千寿製薬株式会社